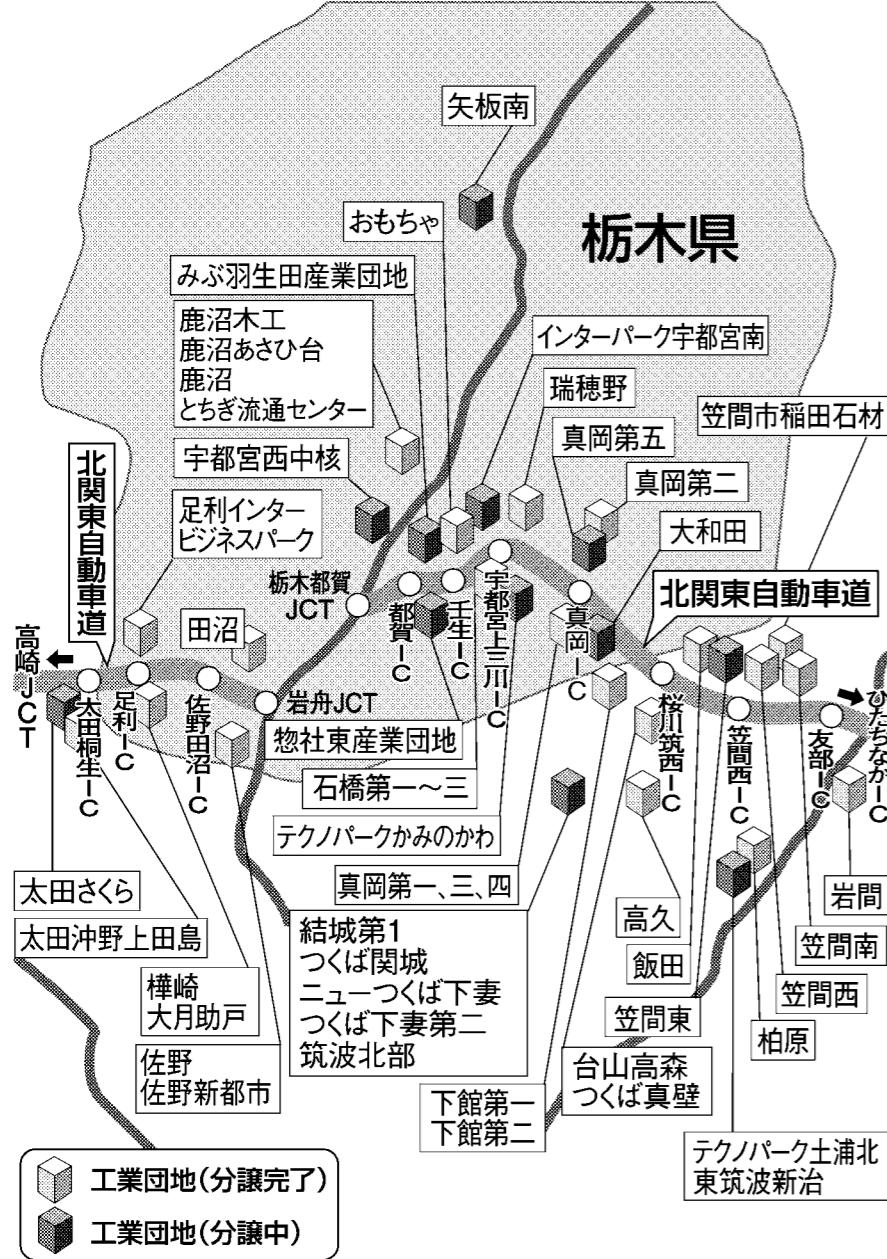


さらなる物流効率化と地域経済発展のつながる道に

企業誘致に拍車



栃木県は北関東自動車道全線開通によって企業誘致に弾みをつける（NEXCO東日本の「北関東道全線開通！太田桐生1C」）

栃木県は北関東自動車道全線開通によって企業誘致に弾みをつける（NEXCO東日本の「北関東道全線開通！太田桐生1C」）

道の栃木都賀JCTより東側のルートが開通した。栃木県各エリアから茨城港へのアクセスが向上した。例えば宇都宮市から京浜港にトラック輸送するルートと比較すると、約1時間も短縮できる。実際、日産自動車は、栃木工場（栃木県上三川町）で生産する北米向け自動車の定期出荷に茨城港（日立港区）を利用している。京浜港に出荷するのに比べて1時間以上を短縮できるとともに、輸送にかかる二酸化炭素排出の削減が狙いだ。また、ドラッグストアを展開するカワチ薬品は、北関東自動車道の宇都宮上三川ICの近くに「関東物流センター」を建設した。関東エリア向けの物流の効率化を図ることとしている。

茨城港の代替港を利用しているが、本格復旧後に常陸那珂（北海道（苫小牧））のルートのほか、日立港（鈴鹿）も運航を開始する。北九州（小倉）も運航し、北関東エリアを拠点としている。

茨城港（宇都宮市）が開通したことによって、北関東工場間の移動時間を大幅に短縮できる。開通後と比較すると、宇都宮市は約1時間で結んでいる。

茨城港の代替港を利用しているが、本格復旧後に常陸那珂（北海道（苫小牧））のルートのほか、日立港（鈴鹿）も運航を開始する。北九州（小倉）も運航し、北関東エリアを拠点としている。

2008年12月に東北道の栃木都賀JCTより20分短縮。宇都宮市前橋市では約1時間30分となり、従前より約2時間短縮された。例えば宇都宮市から京浜港にトラック輸送する近海汽船が航路を提供している。東日本大震災の影響により、一部区間で

北関東自動車道は、今回、栃木と群馬を結ぶ佐野田沼インターチェンジ（I.C.）が開通したことにより、東京都から放射線状に延びる常磐自動車道と、東北自動車道、関越自動車道と接続する。栃木県にとって東西・南北の高アクセスが可能になり、トータルを確保する。首都圏や東北圏とのビジネス網を大幅に拡充する機会として、地元産業界などの期待が高まっている。

ビジネス網大幅に拡充

地域連携を強化

「元気プラン」重点戦略に



2012年分譲開始（予定）

産業競争力の強化に向けて企業立地を促進（みぶ羽生田産業団地）

栃木県は北関東自動車道全線開通によって企業誘致に弾みをつける（NEXCO東日本の「北関東道全線開通！太田桐生1C」）

栃木県は北関東自動車道全線開通によって企業誘致に弾みをつける（NEXCO東日本の「北関東道全線開通！太田桐生1C」）